



## 2024年度 もうひとつのおうち柿の木坂 自己評価表

No.	チェック項目	はい (%)	いいえ (%)
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0
2	利用定員やお子さまの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0
3	生活空間は、お子さまにわかりやすく構造化された環境になっているか。	100	0
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、お子さま達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0
5	必要に応じて、お子さまが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100	0
7	ご家族向け評価表により、ご家族等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 ご家族との面談で得た情報を日々の支援に活かしているか。	100	0
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100	0
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0
12	個々のお子さまに対してアセスメントを適切に行い、お子さまとご家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100	0
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子さまの支援に関わる職員が共通理解の下で、お子さまの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0
15	お子さまの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子さまの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0
19	お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100	0
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0
24	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子さまの状況をよく理解した者が参画しているか。	87.5	12.5
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	87.5	12.5
27	就学時の移行の際には、小学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	75	25
29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のお子さまと活動する機会があるか。	75	25
30	日頃からお子さまの状況をご家族と伝え合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0
31	ご家族の対応力の向上を図る観点から、ご家族に対して家族支援の機会や情報提供等を行っているか。	100	0
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0
33	児童発達支援計画を作成する際には、お子さまやご家族の意思の尊重、お子さまの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子さまや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0
34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、ご家族から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100	0
35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0
36	ご家族が参加できる機会を設けるご家族会等を開催する等により、ご家族同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100	0
37	お子さまやご家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子さまやご家族に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0

38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子さまやご家族に対して発信しているか。	100	0
39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0
40	お子さまやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0
41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	87.5	12.5
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員やご家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0
43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0
44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子さまの状況を確認しているか。	100	0
45	食物アレルギーのあるお子さまについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0
46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0
47	お子さまの安全確保に関して、ご家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、ご家族等へ周知しているか。	100	0
48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0
49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子さまやご家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100	0

